

令和五年

大江定期能

時を超え

明治の香り高き能楽堂で

能・狂言を



日時	初会	2月12日(日)	午後1時始
	二回	5月6日(土)	午後1時始
	三回	9月16日(土)	午後5時半始
	納会	12月10日(日)	午後1時始

観能券
 〈全自由席〉
 前売券 3,000円
 学生券 1,500円
 当日券 3,500円

主催 大江能楽会 [お申し込み・お問合せ]
 TEL 075-561-0622 FAX 075-532-2129
 mail noh@fumi.org

◎チケットは、大江能楽堂HPお問合せからお申し込みいただけます。

会場 大江能楽堂
 京都市中京区押小路通柳馬場東入ル



HPはこちら

京の仕出し処
 京料理・寿司・仕出
まっふ
 毎週木曜定休
 京・押小路柳馬場東
 電話 (075) 231-1304(代) 241-3859(夜間)

能装束
佐々木能衣裳
 京都市上京区裏門通中立売上
 電話 (075) 414-0191(代)
 仕舞袴

的確な記録をモットーに!
エイキョービデオ
 京都市伏見区深草大亀谷東久宝寺町12-18
 TEL 075-641-5505
 TEL 075-641-0223



●地下鉄:東西線「市役所前駅」下車、西へ徒歩4分
 ●地下鉄:烏丸線「烏丸御池駅」下車、東へ徒歩4分
 ●京阪電車「三条駅」下車、徒歩15分

令和五年五月六日(土)午後一時始(開場十二時)

大江定期能(二回)

京・中京区押小路柳馬場東入ル
大江能楽堂
TEL(〇七五)二三一・七六二〇

(シテ)谷弘之助

羽衣 (ウキ)廣谷和夫

(大鼓)石井景之 (太鼓)前川光範
(小鼓)成田 奏 (笛)左鴻泰弘

(後見) 松井美樹
大江又三郎

(地謡) 鷺尾世志子 宮本茂樹
河村浩太郎 河村晴道
大江広祐 杉浦豊彦
河村和貴 松野浩行

(仕舞)

笠之段

井上裕久

昭君

杉浦豊彦

(狂言)

水汲 (新発意) 小笠原由禰

(女) 小笠原弘晃

(後見) 泉 慎也

(仕舞)

屋島

鷺尾世志子

(地謡)

松井美樹
大江信行
河村晴道
松野浩行

(休憩)

歌占 (ウキ)喜多雅人

大江広祐

(後見)

(地謡)

谷弘之助 宮本茂樹
河村浩太郎 吉浪壽晃
大江広祐 井上裕久
河村和貴 橋本光史

自然居士 (ウキ)福王知登

(ウキ)喜多雅人

(大鼓)河村凜太郎
(小鼓)曾和鼓堂

(笛)竹市 学

大江信行
牧野和夫

間

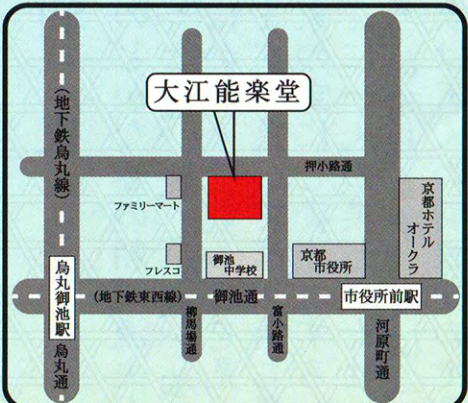
小笠原由禰

(主催)大江能楽会

附祝言

(終了予定五時頃)

会場地図



- 地下鉄東西線「市役所前駅」下車 西へ徒歩5分
- 地下鉄烏丸線「烏丸御池駅」下車 東へ徒歩10分
- 京阪電車「三条駅」下車 徒歩15分

◎裏面に新型コロナウイルス感染拡大予防策について、及び当日の演目解説を記載しております。宜しければご覧ください。

◎前売券 三、〇〇〇円 当日券 三、五〇〇円 学生券 一、五〇〇円

◎観能券のお申し込みはホームページ、又は大江能楽会へお願い致します。

(<http://noh.fumi.org>)



TEL 五六一・〇六二二
FAX 五三二・二二二九

◎次回御案内 令和五年九月十六日(土)午後五時半始

能「融酌之舞」(シテ)大江信行、舞囃子「卒都婆小町」(シテ)大江又三郎
他に狂言・仕舞を予定しています。

羽衣 (はごろも)

のどかな春の朝。漁夫白龍ウキは、麗しい衣が松の枝にかかっているのを見つけてます。急いで家へ持ち帰り家の宝にしようとするところそこに一人の美しい女性シタが現れます。女は「その衣は天人の羽衣なので是非返してほしい」と懇願します。天人の羽衣と知った白龍は返すことを拒みますすると天人は「羽衣がなければ天には戻れない」と嘆き悲しみます。あまりに気の毒な様子に白龍も天人に衣を返そうと決心します。その代わりに、せめて天人の舞を見せてほしいと言います。天人は「先に羽衣を返してもらわないと天人の舞をお見せすることができない」というのですが、白龍は羽衣を返したら天人が約束を守らずに天に帰ってしまうのではと疑いの心をもちます。すると天人は「疑いは人間にあり天に偽りはないのです」と白龍を諭します。白龍は自分の浅ましさを恥じ羽衣を返します返してもらった羽衣を着た天人は喜び月世界における天人の生活の面白さや三保の松原の春の景色を賛えながら、後に「駿河舞」として伝えられる優美な舞を衣を翔せながらまい、天上へと上っていきます。

羽衣として使われる装束は長絹(ちようけん)という絹を素材とした薄く透ける地に金糸が織り込まれている軽やかな装束です。

自然居士 (じねんこじ)

東山雲居寺門前の者テイが、雲居寺造営の七日間の説法を自然居士シタが行っており、今日が結願の日である事を告げます。やがて自然居士が現れ、説法が始める一人の少女コガがやってくる。少女は父母追善の為、我が身を売って得た小袖に諷誦文(供養を請う文)を添えて捧げます。居士はその文を読み上げ、少女の憐れさに聴衆と共に涙します。そこへ東国の人商人ウキウキッが、昨日探しい取った少女がいないと探しやってくる。そして少女を見つけて引き立てて連れて行きます。すべてに事情を知った居士は、その後を追い、大津の浜で丁度出船しようとしてる人商人を呼び止め、小袖を投げ返し、裳裾を波に浸し乍、船に取りつき少女を返すように頼みます。商人は、居士を嚇して容易に少女を返そうとしませんが、居士が少しも動じずに居たので、居士をなぶった上で少女を返してやろうと思いは舞を所望します。居士は始めは戸惑いながらも、乞われるままに舞を舞い、ササラをすり、鞆鼓を打ちます。そして、共に都へ帰ります。

この作品は、典拠は不明ですが、京都雲居寺の居士で実在している自然居士をモデルにして鎌倉期や室町期によく行われていた人買にまつわる巷談を結び付けて脚色されたものです。中世の脚芸尽しを見せる能というだけではなく自然居士の己の結願を捨て、弱きを助け強きを挫くという、「正義の味方」的な姿に魅了されています。

〈新型コロナウイルス感染症予防 対策に関するお客様へのお願い〉

○ 発熱、咳などの症状がある場合は御来場をお控え頂きますようお願いいたします。

○ 会場受付に、検温器、手指の消毒用のアルコールを設置して御座います。ご自由にお使いください。

○ 場内でのマスク着用は任意にてお願いいたします。

〈新型コロナウイルス感染症予防 対策に関する取り組み〉

○ 出演者・スタッフは検温を実施し健康状態を確認いたします。

○ 密閉・密集を避ける為、お座席を通常より減らしております。

○ 設置しておりますお座席にご着席くださいますようお願いいたします。

○ 換気の為の休憩を随時取らせていただくこともございますのでご了承くださいませ。

○ 政府及び京都府など行政の要請により中止または延期となる場合がございます。

お客様にはご不便をお掛けいたしますが何卒ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。